

## 2013 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	商学部	身分	教授
氏名	本庄 裕司		
NAME	Yuji Honjo		

## 1. 研究課題

（和文） スタートアップ企業の資本構成と株式公開

（英文） Capital structure and initial public offering of start-up firms

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究では、日本のスタートアップ期の企業（以下、「スタートアップ企業」と呼ぶ）を対象に、資金調達ライフサイクルの視点から、資本構成および株式公開について分析した。とくに、スタートアップ期の資本構成に注目し、どのように企業が内部金融や外部金融といった資本構成を経年的に変化させていくかを明らかにした。

先行研究のレビューをもとにいくつかの考えを提示し、実際に入手したデータをもとにモデルの推定を試みている。まず、スタートアップ期の資本構成の決定要因を分析した。推定結果から、スタートアップ企業はペckingオーダーと呼ばれる序列的な資金調達より、むしろ内部資金を通じてさらなる外部資金を獲得している傾向を明らかにした。このことは、内部資金が企業と金融機関や投資家との情報の非対称性を緩和する役割をはたすことを示唆している。

つぎに、資金調達のうち企業間信用（買掛金・支払手形）に注目し、その決定要因を分析した。推定結果から、スタートアップ企業の企業間信用は、短期借入金と代替的な関係があることを示した。とくに、設立後に企業間信用の比率に大きな変動はみられないが、短期借入金の比率に増加傾向がみられている。このことは、企業と金融機関や投資家との情報の非対称性が経年的に緩和していることを示唆している。

さらに、スタートアップ企業の株式公開と資本構成との関係を分析した。推定結果から、エクイティファイナンスを利用する企業ほど、株式公開をしやすい傾向を示した。

（英文）

This research has explored capital structure and initial public offering from the perspective of a financial growth cycle, by focusing on firms during the start-up stage in Japan. Specifically, I examined how start-up firms change their capital structures—especially, internal and external financings—over time.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>Ikeda, Y., Honjo, Y., "Trade credit or bank loans? Debt choice of start-up firms in Japan," IBRCU Working Paper Series, Institute of Business Research, Chuo University （査読無） May, 2015（予定）</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>Honjo, Y., "The impact of internal cash generation on capital growth: evidence from start-up firms in Japan," 企業研究所公開研究会, 中央大学多摩キャンパス, 2013年10月</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>